



このセッションの目的は、このパワフルなバージョンの利点を理解して、4Dデベロッパーが自身のアプリケーションに4D v16の新機能をスムーズに取り込むことです。

多くの4Dアプリケーションは数年前から本当にアプリケーションのコアの重要部分を変更する必要もなくバージョンからバージョンへと移行してきました。しかし、処理するデータが多くなるほどに、アプリの周辺（マシン、システム、使用方法、そして何よりもユーザー）のすべてが変わっています。

ゼロからやり直すことなく4D v16の利点を使うために、そして将来に備えるために、新しい機能をみていきましょう。

高速オブジェクト型データベース

新キャッシュマネージャーでメモリ空間を十分に活用
オブジェクト型フィールドの構造にアクセス
VSSで瞬時にバックアップ

洗練されたユーザーエクスペリエンス

リストボックス選択行のカスタマイズ
リストボックスの行毎に高さを設定
リストボックスのプロポーショナルなカラムリサイズ

スケーラビリティ (同時接続ユーザー数)

プリエンティブモードでマルチコア並行処理
プリエンティブモードで快適にWebサーバー公開
スレッドセーフ対応コマンドが続々登場

スタティックからダイナミックな変数へ

フォーム・オブジェクト名
フォーム・オブジェクト & データソース
リストボックスの拡大利用
コールバック
コンテキストのコンセプト

"RAD"デベロッパーツール

改良されたメソッドエディター
廃止ピクチャーフォーマットからの移行をサポート
データファイル毎に設定を管理

... その他

PICT/QuickTime画像の一括コンバート
CSVファイルのインポートとエクスポート
4DにアクセスするiOSアプリを簡単に作成

統合テキストレンダリングエンジン (4D Write Pro)

ブックマークの管理で差し込み文書作成
すぐに使えるツールウィジェット
4D Writeプラグインからの移行をサポート



宮古 啓介
テクニカルアカウントマネージャー
4D Japan



手島 知信
テクニカルサービスチーム
4D Japan



山田 敏之
オペレーションズマネージャー
4D Japan

DEVELOP MORE THAN AN APPLICATION, DEVELOP YOUR BUSINESS